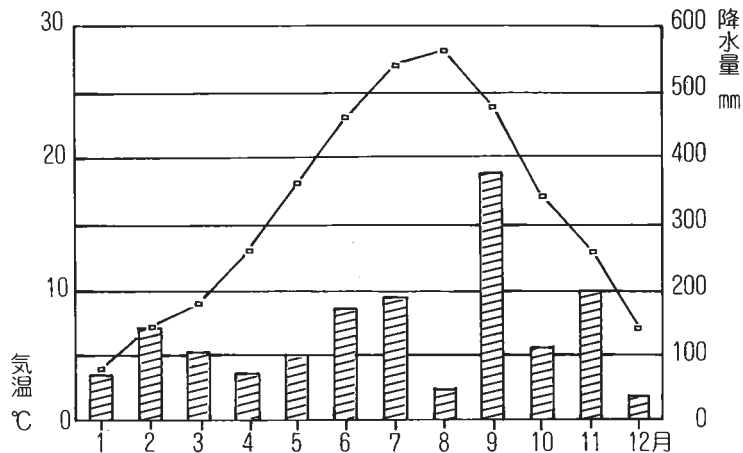


気 象

奈良市の月別、日平均気温と月間降水量

[平成2年]



資料：奈良地方気象台

■ 気 象

概 況	27
奈良市の気象	29
県内各地の気象	30
奈良県で感じた主な地震	30

概 況

【平成2年の気象の特徴】

- (1) 2月の大暖冬
- (2) 桜の開花最早
- (3) 5月の入梅（10年ぶり）・陽性梅雨
- (4) 長く暑い夏
- (5) 晩秋の高温
- (6) 台風最多・最も遅い時期に上陸
- (7) 高温年更新

【月別気象の概況】

1月：天気は、周期的に変化した。下旬は強い冬型の気圧配置となり、厳しい寒さとなった。31日は南岸低気圧で北部を中心に雪となった。

2月：上旬から中旬にかけて天気は短い周期で変化した。下旬は低気圧や前線のため、曇りや雨の日が多く高温・多雨となった。

1日の奈良の積雪21cmは、第1位（これまでは、昭和38年3月13日の19cm）の記録的な大雪となり、北・中部でビニールハウスの農作物に大きな被害が発生した。

11日に「春一番」が吹いた。これは平年より16日、昨年より17日早かった。12日に「黄砂」を観測した。

3月：天気はおおむね周期的に変化した。月初めと月末は低気圧や前線のため、まとまった雨が降った。23日に桜が開花した。これは平年より11日、

昨年より2日早く、最早開花日の第1位（これまでは、昭和34年3月24日）を記録した。

月平均気温8.5℃は3月として高い値の第1位（これまでは、昭和34年の8.2℃）を記録した。

4月：天気はおおむね周期的に変化した。天気の崩れは小さく少雨となった。また寒暖の差が大きく、3日に最高気温25.4℃の夏日を観測し、観測史上一番目（これまでは、昭和39年4月5日）に早い記録となった。29日は強い寒気が流れ込み、直径7mmのひょうを観測した。

5月：上旬から中旬にかけて天気は周期的に変化した。下旬は、高気圧におおわれて空気が乾燥し、晴れの日が多かった。

31日、梅雨に入った。これは平年、昨年より9日早かった。

6月：上旬は周期的に天気に変化した。中旬は半ばに大雨が降ったが、下旬の前半にかけては高気圧におおわれ、晴れて厳しい暑さとなった。下旬の後半は前線のため、曇りや雨の日が多かった。

月平均気温23.1℃は6月として高い値の第1位（昭和54年と対）を記録した。

7月：上旬の前半と中旬の前半は梅雨前線の活動が活発で大雨が降った。梅雨明け後は、太平洋高気圧におおわれて夏空が続き厳しい暑さとなった。

18日、梅雨が明けた。これは平年より1日遅く、

昨年より1日早かった。梅雨期間48日、総降水量は357.5mm（平年の101%）であった。

8月：全般的に、太平洋高気圧におおわれて厳しい暑さと少雨の状態が続いた。中頃、台風や気圧の谷のため大気の状態が不安定となり、雷を伴って一時雨が降った。

月平均気温27.6℃は高い値の第1位（昭和60、59、53、39年と対）。8日の日最高気温37.4℃は第1位（昭和53年8月12日と対）、23日の日最低気温26.2℃は高い値の第1位（昭和29年8月18日と対）、6日の日最小相対湿度20%は8月として第1位（これまでは、昭和34年8月2日の26%）を記録した。

9月：上旬は、高気圧におおわれて残暑が厳しく、高温と少雨の状態が続いた。中旬から下旬にかけては、台風と秋雨前線のため大雨が降った。

7月8日から9月13日まで、真夏日（日最高気温が30℃以上の日）が続き、継続日数68日は第1位（これまでは、昭和53年7月14日～9月11日の60日）の記録となった。

10月：前半は、低気圧や秋雨前線のため曇りや雨の日が多かった。後半は、高気圧におおわれて晴れたが、下旬半ばには、この秋初めての本格的な冬型の気圧配置となり、天気は周期的に変化した。

11月：上旬、天気は周期的に変化した。中旬は高気圧におおわれ晴れたが、下旬の後半は前線や台風の

ため、曇りや雨の日が多かった。

10日に「木枯らし1号」が吹いた。これは、平年より3日、昨年より9日遅かった。

22日に初霜を観測した。これは平年より16日、昨年より1日遅く、最も遅い記録の第1位（これまでは、平成元年11月21日）となった。

台風28号は、日本列島に上陸した台風としては戦後最も遅く（これまでは、昭和23年11月19日の台風第34号）、年間の上陸数も6個目で最多となった。

11月として、月平均気温12.7℃は高い値の第1位（これまでは、昭和57年の12.5℃）、月降水量199.0mmは、多い値の第1位（これまでは、昭和52年の142.5mm）を記録した。

12月：上旬は高気圧におおわれ、晴れの日が多かったが、中旬は短い周期で天気に変化した。下旬は冬型の気圧配置の日が多く、26日に初雪を観測した。これは平年より4日、昨年より7日遅かった。

5日に初氷を観測した。これは平年、昨年とも14日遅く、最も遅い記録の第1位（これまでは、昭和30年12月4日）となった。

年平均気温15.5℃（平年差+1.2℃）は高い値の第1位（これまでは、昭和62年、54、36年の15.0℃）を記録した。

奈良市の気象

年月別	気温 ℃			湿度%	降水量 mm		風速 m/s	
	日平均	最高極	最低極	平均	年(月)量	1時間最大	速度平均	最大瞬間
昭和62年	15.0	36.1	-3.8	73	1,116.5	35.0	1.7	22.9
63	14.1	33.8	-3.2	72	1,246.5	22.5	1.6	20.6
平成元	14.8	34.3	-3.1	74	1,553.0	42.0	1.5	25.2
2	15.5	37.4	-4.3	74	1,611.5	35.5	1.5	29.3
2年1月	3.5	15.3	-4.3	71	68.5	5.0	1.6	13.7
2	6.6	20.0	-2.4	77	140.5	12.5	1.5	13.5
3	8.5	22.3	-2.0	68	102.0	7.5	1.9	16.5
4	13.0	26.5	1.9	69	72.0	8.5	1.8	15.0
5	17.6	28.7	5.7	70	98.5	8.0	1.3	11.7
6	23.1	33.8	13.1	76	169.5	20.5	1.3	13.4
7	26.5	35.1	17.2	78	189.0	35.5	1.2	16.1
8	27.6	37.4	17.1	71	49.5	12.0	1.5	17.8
9	23.6	35.5	15.0	79	376.0	30.5	1.4	29.3
10	16.7	27.6	5.5	81	111.5	15.5	1.2	16.5
11	12.7	22.1	1.6	79	199.0	24.5	1.3	21.1
12	7.1	18.0	-0.6	70	35.5	5.0	1.4	18.2

資料：奈良地方気象台

県 内 各 地 の 気 象

(平成2年)

観測地点 気象項目	奈良	針	大宇陀	五條	上北山	風屋
気温年平均℃	15.6	…	13.5	15.4	13.7	14.2
最高気温(平均)℃	20.5	…	18.7	20.8	19.3	19.4
最低気温(平均)℃	11.1	…	8.7	10.7	9.4	10.0
降水量 mm	1,611	1,871	2,005	1,510	3,557	2,751

資料：奈良地方気象台

注) 針の気温については、機械が故障したため観測不能である

奈 良 県 で 感 じ た 主 な 地 震

(平成2年)

月 日	震 度	発 震 時	震 源			
			震 源 地	北 緯	東 経	深 さ
1 月 11 日	4	20時10分	滋賀県北西部	35度7分	135度59分	11km
4 月 13 日	2	13時1分	滋賀・岐阜県境	35度9分	136度31分	40km
4 月 26 日	2	16時40分	奈良県北部	34度38分	135度54分	11km
9 月 24 日	2	6時13分	東海道はるか沖	33度6分	138度38分	60km
12月21日	2	10時51分	奈良県北部	34度38分	135度55分	13km

資料：奈良地方気象台